



平成 20 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社アドバンスト・メディア
代表者名 代表取締役社長 鈴木 清 幸
(コード番号：3773 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画部長 吉 田 一 也
(TEL. 03-5958-1031)
URL <http://www.advanced-media.co.jp>

経営改善計画の進捗状況に関するご報告

平成 19 年 9 月 28 日に発表しました当社経営改善計画の進捗に関して、平成 20 年 3 月期 第 3 四半期における状況を株主様及び投資家の皆様にご報告させていただきます。

利益の出る収益構造への施策

売上急増に頼らない収益改善～固定費及び変動比率削減による損益分岐点の改善～

施策 販売用ソフトウェア及び社内ソフトウェア資産の減損処理による償却負担の軽減

上半期末にソフトウェア資産の臨時償却及び減損を実施しており、下半期以降償却負担は減少しております。当第 3 四半期におきましては、当第 2 四半期に比べ、約 57 百万円減額し負担を軽減しております。

施策 高利益率パッケージ製品の販売に注力する営業部門の立ち上げと売上に占めるパッケージ製品比率の向上

当四半期連結会計期間から、販売体制をパッケージ製品販売部門とソリューション営業部門とに分けて、営業活動を行っております。当四半期は、営業体制の移行時期であり、具体的な成果を得るには至っておりません。

施策 人材の適材・適所の見直し、パフォーマンス評価の徹底、外注の見直しによる総人件費の削減

当四半期の期首と期末の正社員数は、自然減も含め 9 名 (10.8%) 減少いたしました。人件費総額も第 2 四半期と比較し当第 3 四半期においては、約 17 百万円減少いたしました。今後も継続して外注費及び業務フロー等の見直しを推し進めてまいります。

施策 選択と集中による研究開発費の更なる削減

当第 3 四半期におきましては、緊急性のない研究開発案件の凍結などの対応を開始いたしました。当四半期以内での費用効果は、実現できておりません。一方子会社の株式会社ボイスドメインサービスを 100% 子会社化し、開発リソースを当社へ集約するとともに同社の管理に関わる業務を大幅に低減し、当社のモバイルビジネスへの収れんを進めました。今後は、来期以降の製品戦略もにらみつつ、選択と集中を更に推進してまいります。

施策 オフィスの移転などによる販売管理費の削減

平成 20 年 2 月 12 日より、新オフィスに移転するとともに外部倉庫等の契約の見直しを行いました。この移転等により光熱費などオフィス関連費用も含め年額約 70 百万円のコスト削減効果を見込んでいます。

今後も、決算発表時には、進捗状況につきましてご報告させていただきます。

以上